

令和3年度

苫小牧市立病院新改革プラン評価報告書

令和3年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

目 次

1 はじめに 1

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 委員会としての具体的な評価手法 2

(2) 委員会評価 2

苦小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅰ 5

苦小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ 7

苦小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ 9

【附属資料】

委員名簿 10

委員会の開催状況等 11

1 はじめに

本委員会は、平成29年2月に策定された「苫小牧市立病院新改革プラン」（以下、「新改革プラン」という。）の進捗状況に対する点検及び評価、市立病院の経営状況に係る専門的な意見を提言することを目的として、医療関係、経済界、学識経験者からなる外部委員で構成された評価委員会である。今年度は、計画期間の最終年度である令和2年度分について、点検及び評価、並びに意見を求められた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界的規模で流行し、医療界全体に大きな影響を及ぼした。苫小牧市立病院においても、圏域で初めて感染が確認された令和2年2月から通常診療を制限してコロナ対応を優先せざるを得ない状況が今日まで継続しており、医療体制の逼迫や医業収益の大幅な減収など、これまで経験のない困難に直面した一年となった。

本委員会は、このような状況のなかで新改革プランに掲げた目標を達成することは困難であったと考えるが、あらかじめ評価方法が定められた数値目標もあることから、厳しい評価としたことをご理解いただきたい。

苫小牧市立病院は、コロナ禍であっても救急医療や周産期医療など中断することができない重要な役割もあるなか、北海道、苫小牧市医師会など関係機関と連携しながら、公的医療機関の役割を十分に果たすとともに存在意義を明確にした。

今後も、コロナ終息までの道のりは不透明であり、医療を取り巻く状況は依然として厳しいが、東胆振医療圏域の中核病院として、高度・政策医療の充実に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、実行性のある次期プランの策定と経営改善に向けた更なる努力を期待する。

令和3年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

委員長 豊田 健一

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 委員会としての具体的な評価手法

苫小牧市立病院が令和3年9月に策定した「苫小牧市立病院新改革プラン自己評価」（以下、病院評価）に示された自己評価について、病院事務局から項目ごとに評価理由等の説明を求め、その内容を審議した。

評価基準は病院評価と同じものを用いることとし、特に委員会として特筆すべき事項を付した。

〔評価基準〕

A：プランの目標値を余裕をもって達成し、ある程度の付加価値が生じた。

B：プランの目標値は達成した。

C：プランの目標達成に向けて取組みはしているが、現状未達成である。

D：プランの目標達成に向けて取組めていない。

E：検討して（されて）いない。

—：評価対象外

(2) 委員会評価

〔総評〕

コロナ対応を優先したことやコロナ禍における受診控えなど、全ての医療機関に共通した外的要因もあり、プランの目標値を達成できず「C」評価としたものも多くある。しかしながら、感染症患者及び疑似症患者を積極的に受け入れ、感染症指定医療機関としての責務を果たしている点について、特に高く評価するとともに、医療従事者をはじめ職員全員が一丸となり献身的に対応に当たっていることに感謝の意を表するものである。

コロナ禍という不確定要素が多い中で中期計画の策定は困難な側面があるものの、実行性のある次期プランを策定し、安定的な経営基盤の構築に向けた取組を進めていくことを期待する。

なお、「D」評価（「取組めていない」）、「E」評価（「検討していない」）とされている項目はなく、全ての評価項目について病院として取り組んでいることを確認した。

〔個別項目の評価〕

委員会審議の結果、特に評価・意見を付すこととしたものについて、以下に示す。

評価項目 I 【医療機能・経営指標】

- ・ 【医療機能等指標に係る項目】

- 項番 1 「救急患者数」 「C」 評価

- 救急患者数は目標を下回ったものの、圏域での救急医療の需要が全体として減少している。当圏域での輪番制を堅持し、救急医療の需要に対応できており、地域の医療機関との連携・役割分担を図りながら新型コロナの対応に注力したことを評価する。

- ・ 【医療機能等指標に係る項目】

- 項番 2 「手術件数」 「C」 評価

- 項番 3 「紹介患者数」 「C」 評価

- 手術件数、紹介患者数ともに目標を下回ったものの、感染症指定医療機関としての役割を果たすために通常診療を一部制限することは、やむを得ないものとする。

- ・ 【収支改善に係る項目】

- 項番 4 「経常収支比率」 「A」 評価

- 項番 6 「資金不足比率」 「A」 評価

- 医業収益が悪化した一方、新型コロナ関連の臨時的な補助金の積極的な活用などにより、経営状況を悪化させずに事業を継続したことを高く評価する。

- アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた本業における経営力強化に期待する。

- ・ 【経費削減に係る項目】

項番7 「職員給与比率」 「C」評価

項番8 「材料費比率」 「C」評価

通常診療を一部制限したことにより医業収益が減少し、各費用の占める割合が上がったことは、やむを得ないものとする。

- ・ 【収入確保に係る項目】

項番10 「病床利用率」 「C」評価

通常診療を一部制限したことによる利用率の減少は、やむを得ないものとする。病棟を閉鎖してマンパワーを確保し、新型コロナの診療と一般診療とのバランスを図り対応したことを評価する。

- ・ 【経営の安定性に係る項目】

項番13 「医師数」 「C」評価

医師の両立支援や退職による診療体制の変更はあったものの、大学病院等からの非常勤医師の応援により、診療を継続していることは評価する。

個々の評価項目に対する本委員会の評価及び意見の一覧については、5～9ページに示した。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【医療機能等指標に係る項目】

単位：人、件

項番	項目	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	救急患者数	4,500	3,648	C	C	病院評価と同評価とするものの、圏域での救急医療の需要が全体として減少している。当圏域での輪番制を堅持し、救急医療の需要に対応できており、地域の医療機関との連携・役割分担を図りながら新型コロナの対応に注力したことを評価する。
2	手術件数	2,500	2,091	C	C	病院評価と同評価とするものの、感染症指定医療機関としての役割を果たすために通常診療を一部制限することは、やむを得ないものと考ええる。
3	紹介患者数	10,000	7,412	C	C	

【収支改善に係る項目】

単位：%

項番	項目	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
4	経常収支比率	100.4	109.3	A	A	医業収益が悪化した一方、新型コロナ関連の臨時的な補助金の積極的な活用などにより、経営状況を悪化させずに事業を継続したことを高く評価する。 アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた本業における経営力強化に期待する。
5	医業収支比率	94.0	79.0	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
6	資金不足比率	5.9	2.8	A	A	項番4と同様の理由により、病院評価と同評価とする。

【経費削減に係る項目】

単位：%

項番	項目	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
7	職員給与比率	51.4	62.9	C	C	病院評価と同評価とするものの、通常診療を一部制限したことにより医業収益が減少し、各費用の占める割合が上がったことは、やむを得ないものと考ええる。
8	材料費比率	21.7	22.4	C	C	
9	後発医薬品(ジェネリック)使用割合	80.0	96.0	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【収入確保に係る項目】

単位：％、円

項番	項目	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
10	病床利用率	80.0	57.0	C	C	病院評価と同評価とするものの、通常診療を一部制限したことによる利用率の減少は、やむを得ないものとする。病棟を閉鎖してマンパワーを確保し、新型コロナの診療と一般診療とのバランスを図り対応したことを評価する。
11	入院単価	59,000	61,285	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
12	外来単価	12,700	14,123	B	B	

【経営の安定性に係る項目】

単位：人、百万円

項番	項目	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
13	医師数(臨床研修医等も含む)	79	76	C	C	医師の両立支援や退職による診療体制の変更はあったものの、大学病院等からの非常勤医師の応援により、診療を継続していることは評価する。
14	企業債残高	8,906	8,863	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
15	一時借入金残高	1,018	1,298	C	C	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
1	安定した医師確保	28年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	看護師、コメディカルなど診療体制に見合う人材確保	28年度～	C	C	
3	初期臨床研修医受入体制の強化	28年度～	B	B	
4	院内研修等による多職種連携の更なる推進	28年度～	B	B	

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
5	認知症ケアチームなどのチーム医療の強化	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
6	働きやすい院内環境の整備など	28年度～	B	B	
7	医療機関・介護施設等、多職種との情報交換会の開催	28年度～	C	C	

【収入増加（維持）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
8	急性期一般入院基本料1（旧7対1入院基本料）などの施設基準の維持	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
9	地域包括ケア病棟の活用	28年度～	C	C	
10	ハイケアユニット（HCU）の運用	28年度～	B	B	
11	かかりつけ医との連携強化	28年度～	B	B	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【経費削減（抑制）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
12	医療機器の効率的で効果的な更新整備	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
13	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の拡大	28年度～	B	B	
14	材料費価格の適正化	28年度～	B	B	
15	エネルギー診断等による光熱水費の削減	28年度～	B	B	

【その他】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
16	院内スペースの狭隘化解消	29年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
17	経営形態の現状と見直しの方向性	29年度～	—	—	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ

【毎年度の収支計画】

単位：百万円

項番	収益的収支	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	病院事業収益	10,911	11,655	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	医業収益	9,661	7,987	C	C	
3	入院収益	6,290	4,868	C	C	
4	外来収益	2,590	2,380	C	C	
5	その他	781	739	C	C	
6	医業外収益	1,208	3,632	A	A	
7	特別利益	42	36	B	B	
8	病院事業費用	10,880	10,695	A	A	
9	医業費用	10,273	10,110	A	A	
10	職員給与費	4,970	5,024	C	C	
11	材料費	2,093	1,790	A	A	
12	経費	2,302	2,366	C	C	
13	その他	908	930	C	C	
14	医業外費用外	550	517	A	A	
15	特別損失	57	68	B	B	
16	経常収支	46	992	A	A	
17	当年度純損益	31	960	A	A	
18	内部留保資金	719	648	—	—	

項番	資本的収支	2年度 目標値	2年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
19	資本的収入	760	1,101	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
20	企業債	300	282	B	B	
21	他会計負担金等	459	457	B	B	
22	その他	1	362	A	A	
23	資本的支出	1,140	1,461	C	C	
24	建設改良費	330	661	C	C	
25	企業債償還金	768	762	B	B	
26	その他	42	38	B	B	
27	資本的収支	▲ 380	▲ 360	A	A	

28	その他資金変動額	▲ 265	▲ 185	—	—	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
29	単年度資金収支	105	1,063	A	A	
30	累積資金収支	▲ 1,357	▲ 996	A	A	

31	資金不足算入対象外流動負債	778	770	—	—	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
32	資金不足額	579	226	A	A	
33	資金不足比率	5.9	2.8	A	A	

【附属資料】

委員名簿

区分		所属	役職	氏名	
委員	医療関係	委員長	一般社団法人 苫小牧市医師会	副会長	豊田 健一
		副委員長	一般財団法人 ハスカッププラザ (苫小牧市保健センター)	専務理事	棒手 由美子
			北海道胆振総合振興局 保健環境部苫小牧地域保健室 (苫小牧保健所)	次長	柴田 みゆき
	経済界		苫小牧信用金庫	常務理事 資金証券部長	川道 佳幸
			苫小牧商工会議所	中小企業相談所長	遠藤 和盛
			苫小牧消費者協会	副会長	伴 辺 久子
	経学 験者識		北洋大学	特任教授 (学部長)	山田 利一
	事務局		苫小牧市	副市長	福原 功
			市立病院	院長	松岡 伸一
				事務部長	佐々木 薫
		事務部次長		桐木 賢	
		経営管理課長		駿河 まゆみ	
		医事課長		小林 泰賀	
		地域医療連携室主幹		名越 真浩	
		経営管理課長補佐		岡路 大輔	
		経営管理課副主幹		福井 教彦	
		医事課長補佐		西村 政昭	
		医事課副主幹		梅木 秀俊	
		経営管理課財務係長		桑島 敬輔	

令和3年度 市立病院新改革プラン評価委員会 審議日程

1 評価委員会・市議会審議日程

日付	内容	備考
9月	第1回評価委員会（持ち回り開催） 自己評価書提示、指摘事項・質問等の受付	委員に資料を送付
10/1	市議会決算委員会 新改革プランローリング版提示	
10/14	第2回評価委員会開催 自己評価の審議	委員出席
11/11	第3回評価委員会開催 委員会評価作成及び決定	委員出席
11月下旬	市長へ委員会評価報告書提出	委員長、副委員長出席
12月	市議会厚生委員会 委員会評価報告書を提出	

2 評価委員会の開催場所等

	日時	場所
第1回	9月（持ち回り開催）	—
第2回	10/14（木）18:30～	市立病院2階 講堂A
第3回	11/11（木）18:30～	市立病院2階 講堂A

3 市長への評価報告書提出の開催場所等

日時	場所	内容
11月18（木）15:30～16:30	市役所5階 第1応接室	委員長、副委員長から市長へ 評価報告書を提出